

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	3	1	1	スポーツ・レクリエーション	スポーツ環境の充実
実施計画事業名					
新型コロナウイルス感染症対策事業					

予算科目					
款 項 目 事				事業名	
9	06	02	01	施設維持管理費	
担当課・係等					
体育課体育館係					

実施計画整理番号	
103010101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	熱中症対策の為、地域の体育・スポーツ施設における冷房設備の整備は急務である。施設の環境整備を図ることにより、利用者の生命・身体の安全を確保し、スポーツ実施率の向上、災害時の避難所としての機能を高める。	新型コロナウイルス感染症対策としての換気を図るとともに、空調機の設置工事を実施する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	施設の環境整備を図り、また感染症対策としての換気機能の向上により、施策「スポーツ環境の充実」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円		93,368	79,662						
	財源内訳	国補助	千円	93,368	79,662						
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	0	0						
	人工数	人	1.7								
	人件費	千円	9,078								

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
空調設備の設置	空調設備を整備し、利用者にとって快適なスポーツ環境をつくる。	目標値				
		実績値				
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
快適なスポーツ環境を整えることにより、スポーツ実施率を高める。	市民体育館の利用者数	人	目標値 —	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
			実績値 —	57,086		

活動指標の動向	成果指標の動向																		
	市民体育館の利用者数 <table><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>R1</td><td>150,000</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R3</td><td></td><td>57,086</td></tr><tr><td>R4</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R5</td><td></td><td></td></tr></table>	年度	目標値	実績値	R1	150,000		R2			R3		57,086	R4			R5		
年度	目標値	実績値																	
R1	150,000																		
R2																			
R3		57,086																	
R4																			
R5																			

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	3	1	1	新型コロナウイルス感染症対策事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	06	02	01	施設維持管理費

整理番号
103010101

課題抽出
(CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
・市民体育館柔道場・剣道場及び卓球場に空調設備を設置し、スポーツ環境を整えるとともに、感染症対策としての換気機能を向上させた。		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
・市民体育館柔道場・剣道場及び卓球場の空調設備設置工事期間において、施設(工事部分)を利用できない期間が生じ、利用者に対し不便をかけたが、特に混乱等はなかった。		

今後の方向性
(ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
・令和4年度に実施するメインアリーナの空調設備設置の際は、工事期間が決定すると同時に、利用者に対し事前の周知を徹底する。	
企画政策課の評価	評価理由
A A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	施設の環境整備を図ることで、市民等のスポーツ実施率向上及び災害時の避難所としての機能強化に資する事業と認められる。引き続き、利用者の利便性向上に努めていただきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	3	2	1	スポーツ・レクリエーション	スポーツ・レクリエーションの推進
実施計画事業名					
スポーツ教室事業					

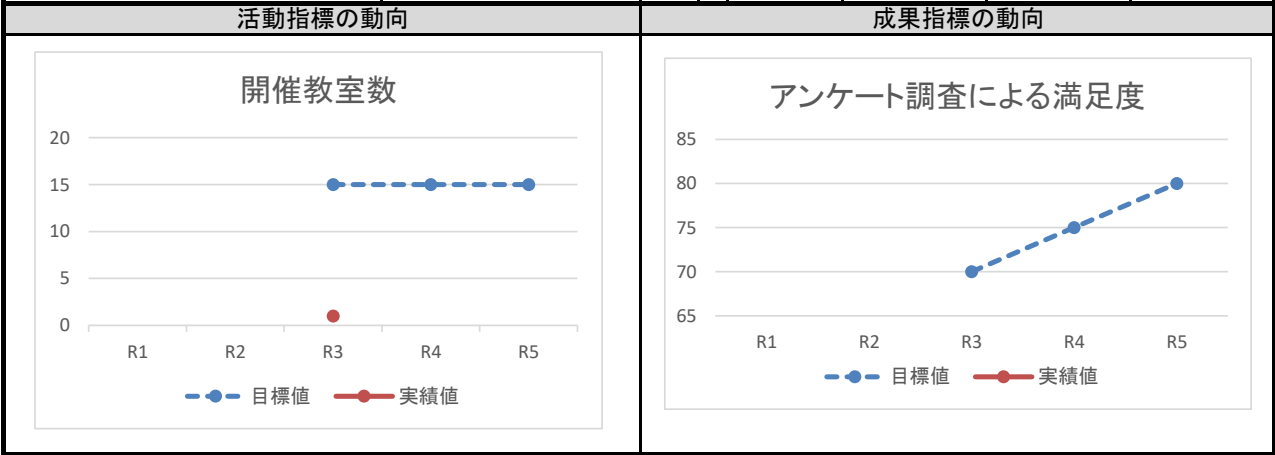
予算科目					
款 項 目 事				事業名	
9	06	01	02	スポーツ教室事業	
担当課・係等					
体育課体育館係					

実施計画整理番号	
103020101	
総合戦略 整理番号	32201

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	市民の健康づくり・体力づくりを推進し、健康で明るい活力に満ちた生活の実現を目指す。	基本的な運動技術の習得を目標に各種スポーツ教室を開催する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	市民誰もが日常でスポーツできる環境を整備し、魅力的なスポーツ教室の開催等、スポーツによる健康・体力づくり事業の活性化を図ることで、施策「スポーツ・レクリエーションの推進」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	745	745	317	808					
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	745	745	317	808				
	人工数	人		1.2							
	人件費	千円		7,658							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
各種スポーツ教室の開催	開催教室数	回	目標値 —	15	維持します	維持します
			実績値 —	1		
			目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
市民が健康で活力に満ちた生活を送る	教室参加者へのアンケート調査による満足度(満足、概ね満足の人数割合)	%	目標値 —	70	75	80
			実績値 —	—		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	3	2	1	スポーツ教室事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	06	01	02	スポーツ教室事業

整理番号
103020101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
・茂原スポーツフェスティバル茂原市ジュニアバレーボール教室を開催し107名の参加があった。 ・その他の市主催教室は新型コロナウイルス感染症感染拡大により開催できなかった。		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
B: 必要性が認められる	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
総合評価		
C: 成果を挙げることができなかった(目標・目的を達成していない)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
・茂原スポーツフェスティバル茂原市ジュニアバレーボール教室については、講師数を増やすことにより更にきめ細かい指導ができる。元オリンピック選手のプレーを間近で体感、直接指導を受けることは子供たちにとってかけがえのない経験であり、より多くの子どもに参加の機会を提供するためにも更に人員数・配置や指導内容等を検討する必要がある。 ・コロナ禍における市主催教室の開催方法の検討が必要である。		

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性		改善・改革の手法	
B:事業の実施方法やコスト等について改善が必要		⑤更なる事業の推進	
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
・茂原スポーツフェスティバル茂原市ジュニアバレーボール教室については、講師の増員を検討するとともに講師側と児童・生徒数に合った指導内容の協議をしていく。 ・コロナ禍における主催教室の開催方法については、開催場所や参加人数の見直しを図るとともにオンライン等の活用も検討していく。			
企画政策課の評価		評価理由	
B		A:計画どおり事業継続が適当 B:事業改善の検討が必要 C:事業の休止・廃止の検討が必要 D:事業終了が適当 市民の健康づくり・体力づくり資する事業と認められる。引き続き、利用者ニーズを把握し満足度向上に努めるとともに、昨年度からの課題であるコロナ禍での開催方法を進めていただきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	3	2	1	スポーツ・レクリエーション	スポーツ・レクリエーションの推進
実施計画事業名					
スポーツ振興事業					

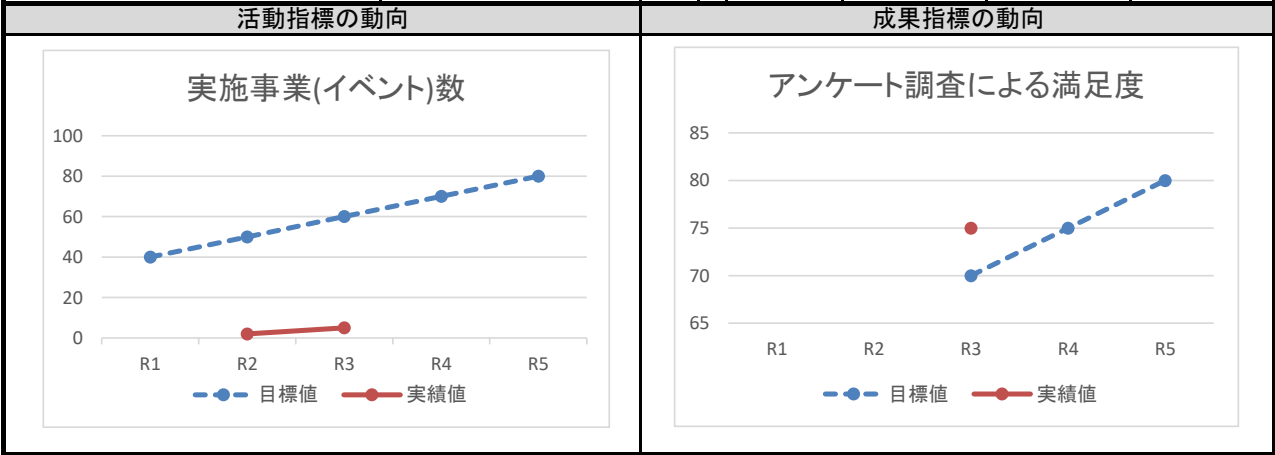
予算科目					
款 項 目 事				事業名	
0	60	10	3	スポーツ振興事業	
担当課・係等					
体育課体育振興係					

実施計画整理番号	
103020102	
総合戦略 整理番号	32202

事務事業の概要（PLAN）	事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
	市民が、スポーツに取り組む機会の充実や環境整備を図り、スポーツを行う習慣づくりの意識啓発に努め、スポーツへの関心や意欲の向上が図られることを目指す。また、茂原市体育協会と茂原市スポーツ少年団の組織強化を図り、競技スポーツと青少年の健全育成を推進する。	・従来の市民体育館での事業に加え、小学校体育館を拠点とした事業も実施し、身近な場所で気軽にスポーツに取り組む環境を整備する。
		・もばらタッチバレーボール千葉県大会、ファミリースポーツまつり、スポレク祭、大相撲鎌山部屋ふれあい相撲等を開催する。
		・スポーツへの関心を高めるため大相撲巡業の（仮称）大相撲茂原場所を開催する。
基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）		
	市民スポーツの充実や、スポーツによる健康・体力づくり事業の活性化を図ることで、施策「スポーツ・レクリエーションの推進」に寄与する。	

投入 される 行政コスト (DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		単位	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	7,382	7,382	2,925	7,382				
	財源 内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	7,382	7,382	2,925	7,382				
	人工数		人	1.7							
	人件費		千円	12,857							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
スポーツへの関心や意欲の向上を 目的としたスポーツ・レクリエーション 事業の実施	実施事業(イベント)数	回	目標値 50	60	70	80
			実績値 2	5		
			目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
市民が習慣的にスポーツに取り組める 機会の充実を図り、楽しみながら心身 ともに健康でいられる環境をつくる。	事業(イベント)参加者へのアンケート調査による 満足度(満足、概ね満足の人数割合)	%	目標値 —	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
			実績値 —	75		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	3	2	1	スポーツ振興事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
0	60	10	3	スポーツ振興事業

整理番号
103020102

課題抽出（CHECK）

活動内容と成果（具体的に何をしたか、どのような実績があったか）

- ・市内公立保育所においてスーパーキッズ育成カレッジ（運動能力向上教室）を実施
- ・体力・運動能力調査「大人のスポーツテスト2021」を実施
- ・体育協会及びスポーツ少年団へ補助金を交付し活動の支援
- ・スポーツ推進委員の会議において、コロナ禍で実施可能なスポーツイベント等の検討、及び今後のスポーツ推進委員活動のスポーツ普及についての協議

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる

総合評価

B: ある程度の成果を挙げた（目標・目的を概ね達成している）

分析・評価（活動してどのような課題があったか）

- ・スーパーキッズ育成カレッジは、参加者から今後も継続希望の声が多く好評であった。現在は1学年（年長組）に限定し実施していることもあり、継続実施が必要と考える。継続することにより、子ども全体の運動能力向上とスポーツの習慣化が望める。
- ・体力・運動能力調査「大人のスポーツテスト2021」は、個々の体力年齢を知ることにより健康な体づくりや体力向上に対する意識が高まることにつながると考えるので、参加者を増やしていきたい。
- ・スポーツ推進委員会での検討・協議内容としては、今後も引き続き感染状況に応じて検討していく必要がある。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか）

- ・スーパーキッズ育成カレッジは、参加対象を増やしていくことを考えていく。対象者を増やすことや参加が難しい場合は運動方法や指導方法等を知ってもらう術を考える。現在は1学年（年長組）に限定し実施していることもあり、継続的に実施していく。
- ・体力・運動能力調査「大人のスポーツテスト2021」は、実施回数を増やすことにより参加者を増やしていきたい。
- ・事業全体として、新型コロナウイルス感染症の感染状況をみながら、対策を講じた上で実施できる事業・イベント等を行っていく。

企画政策課の評価	評価理由
B - A: 計画どおり事業継続が適当 - B: 事業改善の検討が必要 - C: 事業の休止・廃止の検討が必要 - D: 事業終了が適当	市民のスポーツへの関心と意欲向上及び競技スポーツと青少年の健全育成の推進に資する事業と認められる。引き続き、関係団体と連携によりスポーツ環境の充実等を図るとともに、昨年度からの課題である開催方法の見直しに努めていただきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	4	1	1	文化芸術	文化環境の整備
実施計画事業名					
新市民会館建設事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	07	新市民会館建設検討事業
担当課・係等				
企画政策課・政策推進室				

実施計画整理番号	
104010101	
総合戦略 整理番号	

事業 概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	昭和42年に開館した中央公民館と昭和43年に開館した市民会館は、施設や設備の老朽化が進んでおり、市民の多様化したニーズへの対応に多くの課題が生じてきた。そこで、市民会館は平成31年3月に閉館としたが中央公民館においては継続して開館している。このため、平成29年度に基本構想、平成30年度に基本計画を策定し、文化芸術や市民等の交流の拠点となる新市民会館(複合施設)建設に向けての検討を進めた。	基本構想・基本計画を基に、民間事業者に対しサウンディングを行い、これを踏まえて、庁内で検討した結果、整備方式は従来方式と決定した。また、建設候補地として「市民会館・中央公民館敷地」と決定したが、令和元年10月25日の大雨による浸水被害を受けたため、建設候補地について改めて検討する必要がある。そのような状況を勘案し、総合計画における事業の位置づけを検討するとともに、建設に向け事業を継続していく。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	新市民会館に関する検討を進め、市民の文化活動や学習の場の提供に努めることで、施策「文化環境の整備」に寄与する。	

投入 される 行政 コスト (DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		単位	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	269	803	736	2,000				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円		736	736	1,933				
		一般財源	千円	269	67	0	67				
	人工数		人	0.2							
	人件費		千円	1,513							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
建設候補地の再検討を含め、建設に向けた検討回答を実施する。			目標値			
			実績値			
			目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
文化芸術や市民の交流拠点としての新市民会館の建設に向けた検討を行う。			目標値			
			実績値			
活動指標の動向			成果指標の動向			

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
1	4	1	1	新市民会館建設事業	2	01	09	07	新市民会館建設検討事業	104010101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	新市民会館に関する検討を進め、市民の文化活動や学習の場の提供に努めることで、施策「文化環境の整備」に寄与するため、旧市民会館の解体に向けた検討を行った。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	C: 有効性について検討が必要である	C: 効率性について検討が必要である
	総合評価		

C: 成果を挙げることはできなかった(目標・目的を達成していない)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
多額の予算がかかるため、財源確保の方策について検討する必要がある。また、建設候補地であった旧市民会館敷地が令和元年度の大雨災害による浸水を受けたため、県による河川改修工事の状況を注視しながら、建設に向けた検討を行う必要がある。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B:事業の実施方法やコスト等について改善が必要		⑥その他	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	新市民会館の建設に当たっては多額の予算を要するため、今後も茂原市民会館等建設基金への継続的な積み立てが必要となる。 また、老朽化の進む旧市民会館についても、早期の解体が必要となるため、基金の活用も含めた財源の確保が必要となる。			
企画政策課の評価		評価理由		
B	A:計画どおり事業継続が 適当 B:事業改善の検討が必要 C:事業の休止・廃止の検討が必要 D:事業終了が適当	文化芸術や市民の交流拠点の創設に資する事業ではあるが、多額の資金が必要なため、今後の方針について慎重に協議する必要がある。 老朽化による安全確保も重要なことから、解体に向けた具体的な検討も進めていただきたい。		

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	4	2	1	生涯学習	芸術文化の振興
実施計画事業名					
文化祭開催事業					

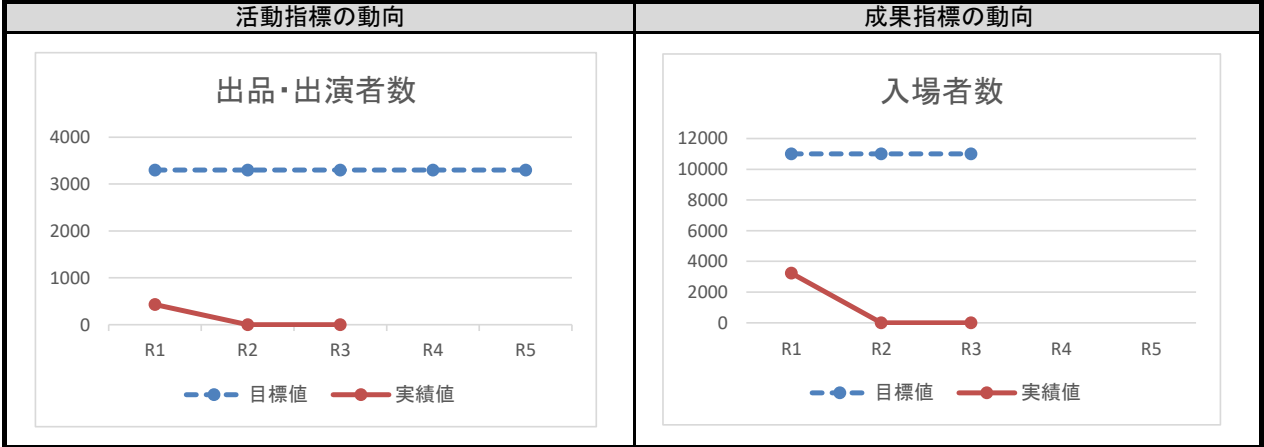
予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	09	文化祭開催事業
担当課・係等				
生涯学習課 文化係				

実施計画整理番号	
104020101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	文化活動の成果の発表の場を提供し、市民の文化意識の向上を図る。	茂原市文化協会との共催により文化祭を開催する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	文化祭を実施することにより、市民の文化意識の向上を図り、ひいては施策「芸術文化の振興」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分		単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
				計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	371	371	77	371					
	財源内訳	国補助	千円									
		県補助	千円									
		市債	千円									
		その他	千円									
		一般財源	千円	371	371	77	371					
	人工数		人	0.5								
	人件費		千円	3,782								

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
美術館・郷土資料館ほか10会場にて開催する。	文化祭出品・出演者数	人	目標値 3300	3300	3300	3300
			実績値			
			目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
教育委員会と文化協会が共催することで、市民の芸術文化活動が推進されるとともに文化意識の向上が図られる。	文化祭入場者数	人	目標値 11,000	11,000	11,000	11,000
			実績値			



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	104020101
1	4	2	1	文化祭開催事業	9	05	01	09	文化祭開催事業	

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	D: 実施していない・実施できなかった		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	参集型事業の開催方法を工夫する必要がある。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	演者の士気が下がらないよう発表の場を設け、発信の仕方を検討する。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当	市民の文化意識向上に資する事業ではあるが、昨年度同様新型コロナウイルス感染症により文化祭自体を開催できていないため、事業の有効性について判断できない。昨年度からの課題である、開催困難な場合の実施方法について再度検討し事業改善につなげていただきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	4	2	1	文化芸術	芸術文化の振興
実施計画事業名					
美術館展示事業					

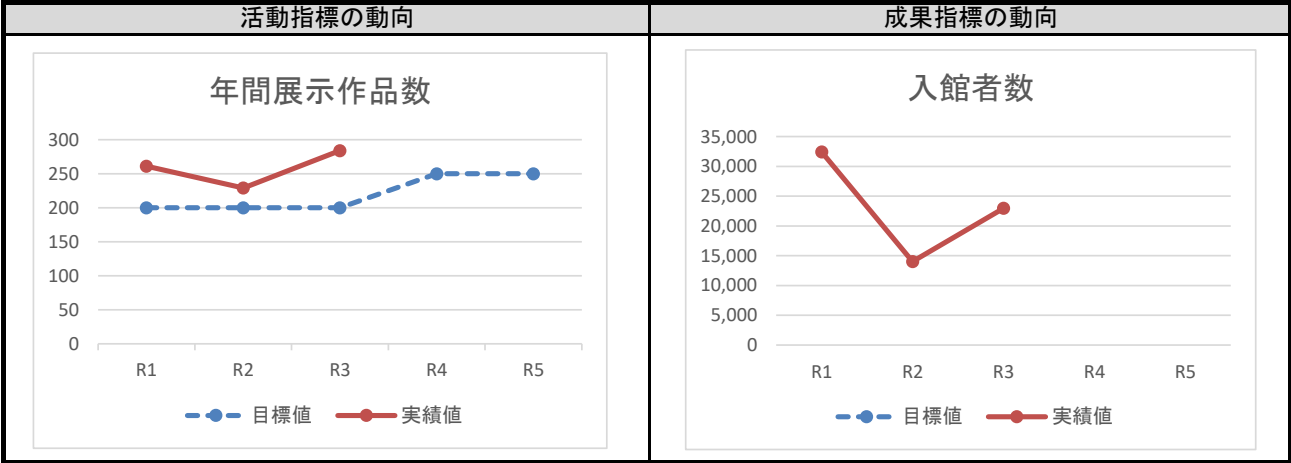
予算科目					
款	項	目	事	事業名	
9	05	05	01	美術館展示事業	
担当課・係等					
美術館・郷土資料館 管理係					

実施計画整理番号	
104020102	
総合戦略 整理番号	32301

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	芸術文化に触れ、鑑賞できる機会を広く市民に提供し、地域の芸術文化の充実と振興を図る。	地域ゆかりの作家の作品について周知を図るため、収蔵品展、企画展を開催する。令和5年度には、令和元年に寄贈を受けた鳩川誠一作品を展示に活用するため、企画展(仮称)鳩川誠一展を開催する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	美術品を収集し、研究した成果を展示に活用して、広く市民に公開することは、施策「芸術文化の振興」に寄与するものである。	

投入される行政コスト(DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	359	359	351	69				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
	一般財源		千円	359	359	351	69				
	人工数		人	0.4							
	人件費		千円	3,026							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
美術収蔵品展、企画展等の開催により、美術収蔵品または他館の美術品を、広く市民に展示公開する。展示作品数を増加し、内容の充実した展示を開催することは、リピーターを含めた来館者の増加につながっていると考えている。	年間展示作品数	点	目標値 200	200	240	240
			実績値 229	284		
	バーチャルミュージアム映像配信数	回	目標値 1	5	8	7
			実績値 1	7		
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
市民が芸術文化に触れ、鑑賞できる機会が創出される。	年間入館者数	人	目標値 増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
			実績値 14,017	22,968		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
1	4	2	1	美術館展示事業	9	05	05	01	美術館展示事業	104020102

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	・コロナ禍の影響で、文化祭・小中学校作品展等の開催が中止となったことを受け、美術収蔵品展の展示回数と展示作品数は、逆に増加する形となった。 ・千葉県移動美術館の開催は、コロナ禍において東京へ行かずとも、フランス絵画をはじめとする名品を鑑賞出来る機会になったと、大変好評であった。 ・バーチャルミュージアムによる映像配信は、コロナ禍において、来館したくても来館できない方々への作品鑑賞の機会の一助とし、将来的な来館者の増加につながるものと考えられるため、配信回数を増加し、内容の充実を試みている。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	A: 効率性が高い
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じたことで、共催団体展は一部を除き計画通り開催できたが、入館者が以前よりも少ない状況は続いている。 ・コロナ禍において、地域の芸術文化に触れる機会を提供できたことは、充分意義があると考えている。 ・美術品の寄附は増加傾向にある。受け入れた資料は展示に有効活用し、展示内容の充実につながっている。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		①業務の整理・統合・集約化	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	・展示内容を更に充実するため、展示会場にて移動式パネルを利用するなどして、展示作品数をさらに増加し、魅力ある展示を行う事で、コロナ禍においてもリピーターや来館者の増加につなげる。 ・本庁2階コミュニティビジョン等において、短時間の映像を作成・放送し、PRを強化して、入館者の増加を図る。 ・バーチャルミュージアムについては、短い映像時間に、作者の特徴や見どころを交えて紹介するなど、より内容を充実させ、コロナ禍に対応した情報発信を推進していく。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	地域の芸術文化充実と振興に資する事業と認められる。引き続き、展示内容の充実及び開催手法の工夫を図るとともに、より効果的な周知を実施し来館者等の増加に努めていただきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	4	2	1	文化芸術	芸術文化の振興
実施計画事業名					
芸術文化講座事業					

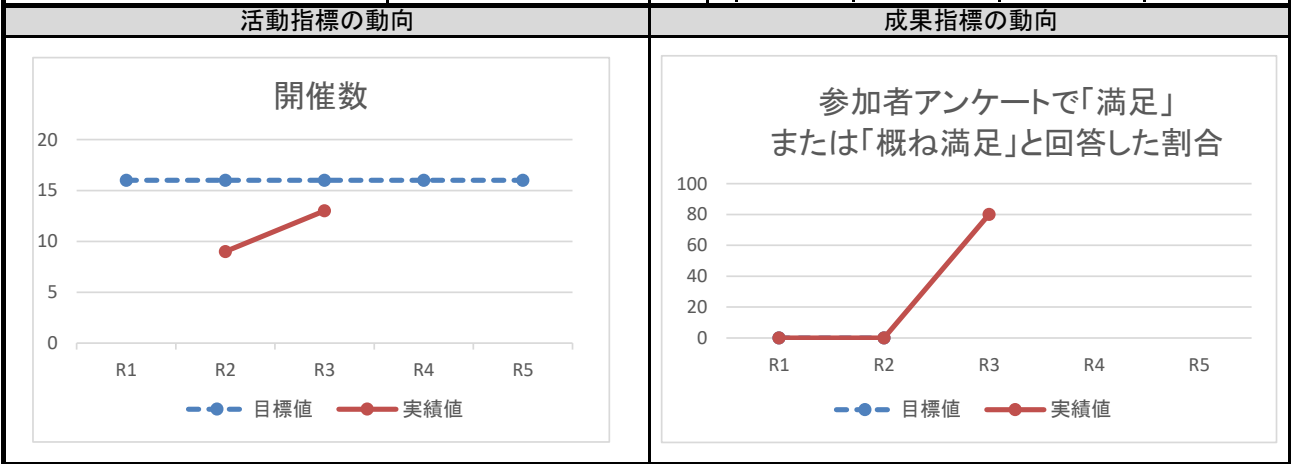
予算科目					
款 項 目 事				事業名	
9	05	05	03	芸術文化講座事業	
担当課・係等					
美術館・郷土資料館 管理係					

実施計画整理番号	
104020103	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要（PLAN）	事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
	講座を受ける機会を広く市民に提供することで、市民が芸術文化と郷土の伝統文化に触れる機会を創出する。	美術実技講座・歴史セミナー・古文書講座を開催する。 また、小中学校への出前講座や、学校からの見学対応を行い、学校教育にも寄与する。
	基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）	
	芸術文化、郷土の伝統文化について学習できる機会を提供することは、施策「芸術文化の振興」に寄与する。	

投入される行政コスト（DO）	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		単位	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	96	96	83	96				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
	一般財源		千円	96	96	83	96				
	人工数		人	0.45							
	人件費		千円	3,404							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
美術実技講座4回、歴史セミナー3回、古文書講座9回を開催し、広く市民に、芸術文化と郷土の伝統文化について学習できる機会を提供する。	開催数	回	目標値 16	16	16	16
			実績値 9	13		
			目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
市民が芸術文化と郷土の伝統文化に触れる機会を創出するとともに、芸術文化の振興が図られる。	講座の参加者アンケートで「満足」または「概ね満足」と回答した割合	%	目標値	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
			実績値	80		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名
1	4	2	1	芸術文化講座事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	05	03	芸術文化講座事業

整理番号
104020103

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	美術実技講座 新型コロナ感染拡大の影響により、回数を全4回開催予定のところ3回開催。3回の合計定員27人のところ、合計参加者延べ18人 場所:美術館実習室 古文書講座 新型コロナ感染拡大の影響により、回数を全9回開催予定のところ8回開催。毎回の定員27人。合計参加者延べ208人 場所:中央公民館 歴史セミナー 新型コロナ感染拡大の影響により、回数を全3回予定のところ2回開催。2回の合計定員30のところ、合計参加者延べ30人 場所:美術館実習室		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・新型コロナウイルス感染拡大防止の為、各講座の開催可否について検討しなければならない。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の為、歴史セミナーについて、受講者定員を半減せざるを得ない状況である。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の為、古文書講座について、受講者数を維持するために、部屋は広いが老朽化等、施設面で課題のある中央公民館に場所を移動して開催せざるを得ない状況である。 ・美術実技講座は、受講希望者の減少傾向があるため、内容等の改善と工夫が必要である。 ・令和3年12月に当館2階の空調機が故障、実習室の空調が出来ない状態で、翌年度に工事し改善の予定だが、夏の冷房時期には間に合わないため、対処方法を検討する。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		⑥その他	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	・新型コロナウイルス感染拡大状況を注視し、状況に応じて開催の可否を決定する。 ・歴史セミナーについて、受講者数に制限がでてしまうが、新型コロナ感染対策を講じたうえで、環境の整っている美術館実習室にて、今年度同様に実施する。 ・古文書講座について、施設面の課題はあるが、中央公民館で実施し、受講者数を維持する。 ・美術実技講座について、内容の変更及び受講者の参加しやすい曜日、時間設定の見直しにより受講希望者の増加を図る。 ・空調機故障対応については、ポータブルクーラー等を借用して対処し、計画通り事業を実施する。			
	企画政策課の評価		評価理由	
B A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当		市民が芸術文化と郷土の伝統文化に触れる機会の創出に資する事業と認められる。引き続き、課題解決に努めることで、市全体の芸術文化の振興につなげていただきたい。		

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	4	2	2	生涯学習	芸術文化の振興
実施計画事業名					
文化振興事業					

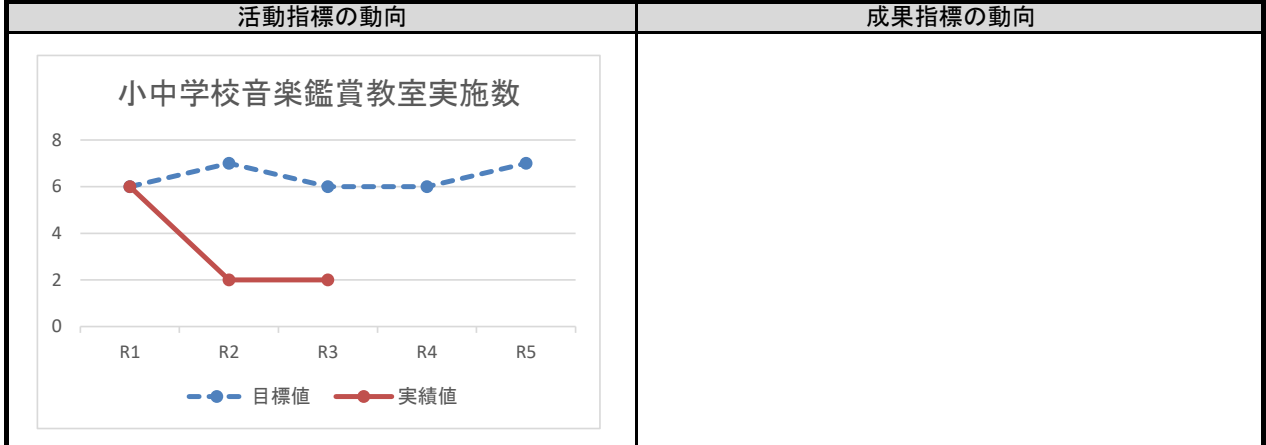
予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	08	文化振興事業
担当課・係等				
生涯学習課文化係				

実施計画整理番号	
104020201	
総合戦略 整理番号	

事業 事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	本市の文化振興を図るため、市民が身近に芸術文化を実践できるようにするとともに、生活する上で心の豊かさが育まれることを目指す。	・小中学校音楽鑑賞教室や芸術文化鑑賞会などの芸術文化事業を実施する。 ・各文化関係団体の活動を支援することで、組織の活動の強化を図る。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	文化関係団体等の活動を支援することで組織活動の強化を図るとともに、芸術文化事業を推進することにより、施策「芸術文化の振興」に寄与する。	

投入 される 行政コスト (DO)	区分		単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
				計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	3,758	3,758	979	3,758					
財源内訳	国補助		千円									
	県補助		千円									
	市債		千円									
	その他		千円	2,359	2,358	197	2,359					
	一般財源		千円	1,399	1,400	782	1,399					
	人工数		人	0.4								
	人件費		千円	3,025								

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
・小中学校音楽鑑賞教室の支援を行う。 ・各文化関係団体の活動を支援する。	小中学校音楽鑑賞実施校	校	目標値 7	6	6	7
			実績値 2	2		
			目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
市民が身近に芸術文化活動を実践できるようにするとともに、生活する上で心の豊かさが育まれることを目指す。			目標値			
			実績値			



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目				整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名
1	4	2	2	文化振興事業	9	05	01	08	文化振興事業
									104020201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	・小中学校音楽鑑賞教室を2校(鶴枝小学校、東部小学校)で実施したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4校で実施できなかった。 ・芸術文化鑑賞会、茂原音楽祭については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。 ・文化関係団体3団体に対して活動支援を行った。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・小中学校音楽鑑賞教室については、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮した実施方法を検討する必要がある。 ・芸術文化鑑賞会及び茂原音楽祭については、新型コロナウイルス感染症の状況により実施について適正に判断する必要がある。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	・小中学校音楽鑑賞教室については、引き続き学校と協議しながら感染症拡大防止に配慮して実施していく。 ・芸術文化鑑賞会及び茂原音楽祭については、関係団体と協議しながら感染症拡大防止に配慮して実施していく。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	芸術文化事業の推進を図ることで、市民の身近な芸術文化活動の実践に資する事業と認められる。今後は、より多くの市民の文化振興を図るため、関係団体との協議により開催手法の改善にも努めていただきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	4	3	1	生涯学習	伝統・文化の維持継承・振興
実施計画事業名					
文化財保護保存事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	10	文化財保護保存事業
担当課・係等				
生涯学習課文化係				

実施計画整理番号	
104030101	
総合戦略 整理番号	32302

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	文化遺産である文化財を後世に伝え、有効活用することにより、市民の文化財に対する理解が深まり、郷土愛が高まることを目指す。	茂原市文化財審議会の開催、指定文化財等の保護保存、郷土芸能等保存団体の活動支援を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	文化財審議会を開催し、指定文化財等の保護・保存を行うことにより、施策「伝統文化の維持継承・振興」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分		単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
				計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	1,544	2,039	1,544	1,038					
	財源内訳	国補助	千円									
		県補助	千円	328	328	35	8					
		市債	千円									
		その他	千円	60	60	108	60					
		一般財源	千円	1,156	1,651	1,401	970					
	人工数		人	1.4								
	人件費		千円	10,588								

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
・文化財審議会の開催 ・指定文化財等の保護・保存	文化財審議会の開催数	回	目標値 2	2	2	2
			実績値 2	2		
	市指定文化財登録件数 (累計)	件	目標値 増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
			実績値 54	56		
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
市民の文化財に対する理解が深まり、郷土愛が高まることを目指す。			目標値			
			実績値			

活動指標の動向	成果指標の動向								
市指定文化財登録件数(累計) <table border="1"><caption>市指定文化財登録件数(累計)実績値</caption><thead><tr><th>年度</th><th>登録件数</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>53</td></tr><tr><td>R2</td><td>54</td></tr><tr><td>R3</td><td>56</td></tr></tbody></table>	年度	登録件数	R1	53	R2	54	R3	56	
年度	登録件数								
R1	53								
R2	54								
R3	56								

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	4	3	1	文化財保護保存事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	10	文化財保護保存事業

整理番号
104030101

課題抽出
(CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
・文化財審議会を2回開催、市指定文化財の指定を2件行った。 ・ミヤコタナゴ生息地の環境整備を3回、自然観察会を1回実施、保護協議会を1回開催した。 ・ヒメハルゼミ生息地の環境整備を1回、保護協議会を1回開催した。 ・郷土芸能保存団体17団体の活動を支援した。		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
総合評価		
B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
・ミヤコタナゴ生息地の大雨による陥没等を防ぐための環境整備を図る必要がある。 ・ヒメハルゼミ生息地の樹木枯等を防ぐための環境整備を図る必要がある。		

今後の方向性
(ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
・ミヤコタナゴ生息地の環境整備(草刈り・水草抜き・水路護岸の修繕等)を図る。 ・鶴枝ヒメハルゼミ発生地の環境整備(ナラ枯れの対策や危険木の伐採等)を図る。	
企画政策課の評価	評価理由
B A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当	関係団体と協同で活動することにより、文化財に対する理解度及び郷土愛の向上に一定の成果がある事業と認められる。一方で、活動内容等を発信するなど市民全体の意識向上に努めていただきたい。

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	4	3	2	文化芸術	伝統・文化の維持継承・振興
実施計画事業名					
郷土資料館展示事業					

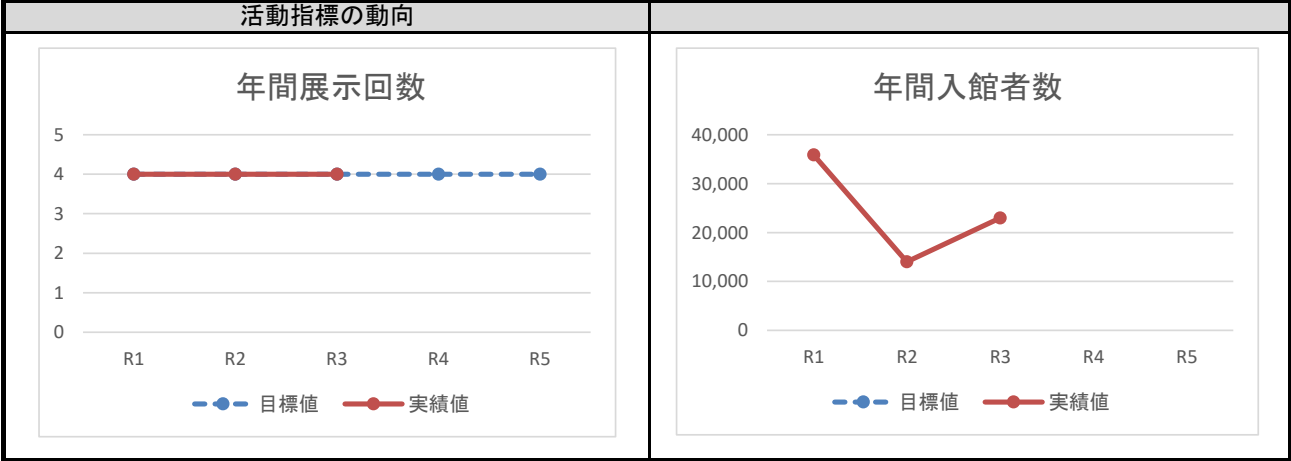
予算科目					
款 項 目 事				事業名	
9	05	05	02	郷土資料館展示事業	
担当課・係等					
美術館・郷土資料館管理係					

実施計画整理番号	
104030201	
総合戦略 整理番号	32303

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	市民が歴史文化に触れ、学習できる機会が創出されるとともに、地域の伝統文化の振興を図る。	郷土の歴史について周知を図るため、地域の主な遺跡の出土品を中心とした常設展示の他、市史編さん事業での調査の成果を含めて歴史・民俗資料を生かしたテーマ展を開催する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	市史編さん事業での資料調査等から発見された考古・歴史・民俗等の郷土資料を収集し、研究した成果を活用して、広く市民に公開することは、施策「伝統文化の維持継承・振興」に寄与するものである。	

投入される行政コスト(DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	23	23	23	23				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	23	23	23	23				
	人工数		人	0.4							
	人件費		千円	3,026							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
市史編さん事業や郷土資料館事業の中で収集した茂原に関する資料を広く市民に展示公開し、又、出前講座や学校の課外授業等を呼び込むことで来館者の増加に努める。	年間の展示回数	回	目標値 4	4	4	4
			実績値 4	4		
	出前講座・課外授業の回数	回	目標値 3	3	3	3
			実績値 4	2		
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
市民が歴史文化に触れ、学習できる機会が創出されるとともに、地域の伝統文化の振興を図る。	年間入館者数	人	目標値 増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します	増加を目指します
			実績値 14,017	22,968		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
1	4	3	2	郷土資料館展示事業	9	05	05	02	郷土資料館展示事業	104030201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	・新型コロナ感染拡大の影響の中、入館者数の減少は、回避できなかったが、年2回のテーマ展等は予定通り実施するとともに、市史編さん事業展示会を開催した。 ・学校からの見学対応や出前講座もコロナ対策を講じながら行った。 ・市公式ウェブサイトや広報もばら、地域情報誌、各新聞社等に情報を発信している他、バーチャルミュージアムによる映像配信も行った。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	A: 効率性が高い
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・新型コロナ感染拡大の影響の中、入館者数の減少は、回避できなかったが、学校からの見学対応や出前講座を実施している。年2回のテーマ展や常設展も予定通り実施し、テーマ展を通じて新資料の提供もあった。 ・限られた展示スペースで収集した資料をより効果的に公開するための工夫が必要である。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		③連携・協働の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	・展示用ケースやパネルの購入を検討するとともに、空いている展示室の有効活用を図るなどの工夫を実施していく。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	市民の学習機会の創出と地域の伝統文化の振興に資する事業と認められる。引き続き、課題解決に努めながら事業実施するとともに、より効果的な周知により来館者の増加及び市全体の伝統文化振興につなげていただきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	4	3	2	文化芸術	伝統・文化の維持継承・振興
実施計画事業名					
市史編纂事業					

予算科目					
款 項 目 事				事業名	
9	05	05	07	市史編纂事業	
担当課・係等					
美術館・郷土資料館管理係					

実施計画整理番号	
104030202	
総合戦略 整理番号	32304

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	市制70周年(令和4年度)から市史の刊行を開始し、茂原市の歴史の変遷を明らかにしていくとともに、郷土愛を育み、後世に市の歴史を継承する。	市史編さん委員会の開催、市の内外にある茂原市に関する歴史民俗資料の調査、市史の原稿執筆依頼、調査報告書の印刷、及び市史の刊行を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	市制施行70周年を記念して令和4年度に新しい市史の1冊目を刊行し、2冊目以降も今後順次刊行する。調査・研究の成果を市史に掲載して広く市民に公開することは、施策「伝統文化の維持継承・振興」に寄与するものである。	

投入される行政コスト(DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	4,843	4,700	3,682	11,314				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円	10	10	11	10				
		一般財源	千円	4,833	4,690	3,671	11,304				
	人工数		人	2							
	人件費		千円	10,402							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
令和4年度の市史資料編1冊目の刊行に向けて県内外の調査を実施するとともに、原稿の執筆は3月下旬に概ね完成する予定である。調査不十分な場所は、新年度に追加で実施する。	市史編さん委員会回数	回	目標値 4	4	4	4
			実績値 4	3		
	調査回数	回	目標値 70	70	70	70
			実績値 101	86		
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
市民の郷土愛を育み、後世に市の歴史を継承していく。	計画的に茂原市史を刊行していく。		目標値			
			実績値			

活動指標の動向	成果指標の動向																		
市史調査回数 <table><caption>市史調査回数動向</caption><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>R1</td><td>70</td><td>70</td></tr><tr><td>R2</td><td>70</td><td>100</td></tr><tr><td>R3</td><td>70</td><td>85</td></tr><tr><td>R4</td><td>70</td><td>70</td></tr><tr><td>R5</td><td>70</td><td>70</td></tr></table>	年度	目標値	実績値	R1	70	70	R2	70	100	R3	70	85	R4	70	70	R5	70	70	
年度	目標値	実績値																	
R1	70	70																	
R2	70	100																	
R3	70	85																	
R4	70	70																	
R5	70	70																	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	104030202
1	4	3	2	市史編纂事業	9	05	05	07	市史編纂事業	

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	・市史編さん委員会を開催し、刊行計画の見直しを図った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、調査人数を減らしつつ可能な範囲で歴史資料の調査を進めた。 ・2月の市史編さん事業講演会や3月の市史編さん委員会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・見直しを図った刊行計画に沿って着実に市史を刊行していく必要がある。 ・新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、市史調査、市史編さん委員会、市史編さん事業講演会を開催していく必要がある。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		③連携・協働の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	・刊行計画に沿った市史の刊行のため、引き続き財政部局と協議していく。 ・引き続き、寺社や公共機関と連携しながら市史調査を実施していく。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当	市民の郷土愛の醸成に資する事業と認められる。引き続き、市史編さん委員会や講演会の実施に努めるとともに、関係機関との連携・協議を重ねながら市史の刊行を進めていただきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	5	1	1	青少年健全育成と家庭教育	青少年健全育成の充実
実施計画事業名					
青少年健全育成事業					

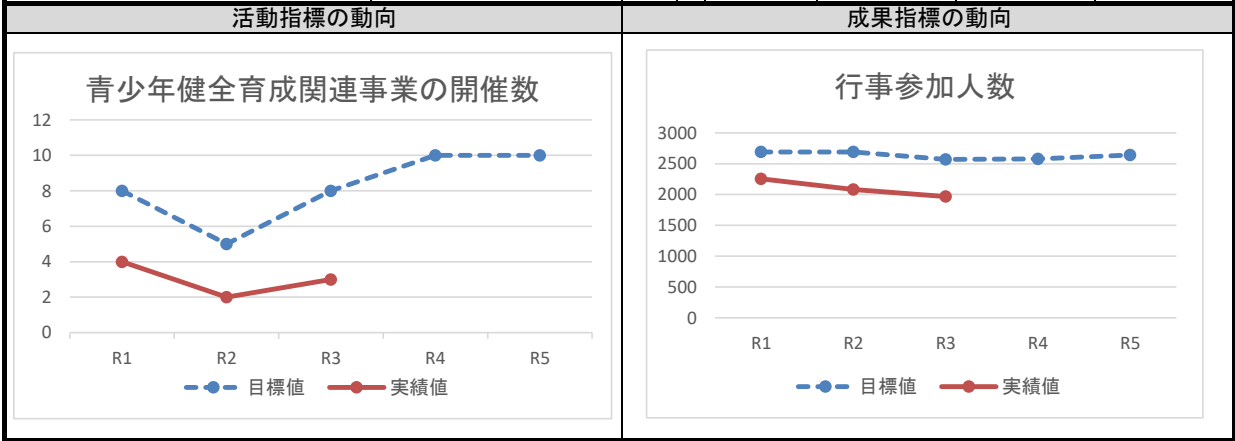
予算科目					
款 項 目 事				事業名	
9	05	01	04	青少年健全育成事業	
担当課・係等					
生涯学習課社会教育係					

実施計画整理番号	
105010101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	青少年育成団体を支援することで、多くの青少年に活躍の機会が提供され、青少年の健全育成が図られることを目指す。	青少年育成団体(青少年相談員連絡協議会、青少年育成茂原市民会議、茂原少年少女発明クラブ、茂原市子どもセンター協議会)に補助金を交付するとともに、事務局として運営を支える。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	青少年の育成は地域全体で行っていく必要がある。各種団体の支援を通じて地域住民と連携することにより青少年の健全育成を図り、ひいては施策「青少年健全育成の充実」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	2,364	2,308	2,170	2,303					
	国補助	千円									
	県補助	千円	370	370	370	360					
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	1,994	1,938	1,800	1,943					
	人工数	人	1.05								
	人件費	千円	7,942								

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
青少年育成団体の活性化を図るため、補助金交付により財政面を、生涯学習課が事務局を担うことにより運営面を支援する。 また、青少年を取り巻く諸問題について青少年問題協議会で情報交換を行う。	活動を支援した団体数	団体	目標値 4	4	3	3
			実績値 4	4		
	青少年健全育成関連事業の開催数	回	目標値 5	8	10	10
			実績値 2	3		
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
行事の実施により、多くの青少年に活躍の機会が提供され、青少年の健全育成が図られる。	行事参加人数	人	目標値 2,690	2,570	2,580	2,640
			実績値 2,080	1,967		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	5	1	1	青少年健全育成事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	04	青少年健全育成事業

整理番号
105010101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	・青少年の健全育成を図るため、関係団体に補助金を交付し活動を支援した。 ①青少年相談員連絡協議会 (実施:写真コンテスト、パトロール、行事用備品購入) ②青少年育成茂原市民会議 (実施:標語コンクール、小中学校に感染症対策用品を配付 中止:講演会、少年の主張大会) ③茂原少年少女発明クラブ ④茂原市子どもセンター協議会 ・青少年問題協議会を開催(1回)		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	青少年育成団体の活動は、ほとんどが参集型であるため、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となる。ウィズコロナに対応した実施方法を検討する必要がある。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		③連携・協働の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	各関係団体と協議の上、ウィズコロナに対応した開催方法を実施していく。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	多くの青少年に活躍の機会を提供するとともに青少年の健全育成に資する事業と認められる。一方で、課題にあるとおり、関係団体と連携し開催方法を改善するとともに、適正な補助に努めていただきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	5	1	1	青少年健全育成と家庭教育	青少年健全育成の充実
実施計画事業名					
放課後子ども教室推進事業					

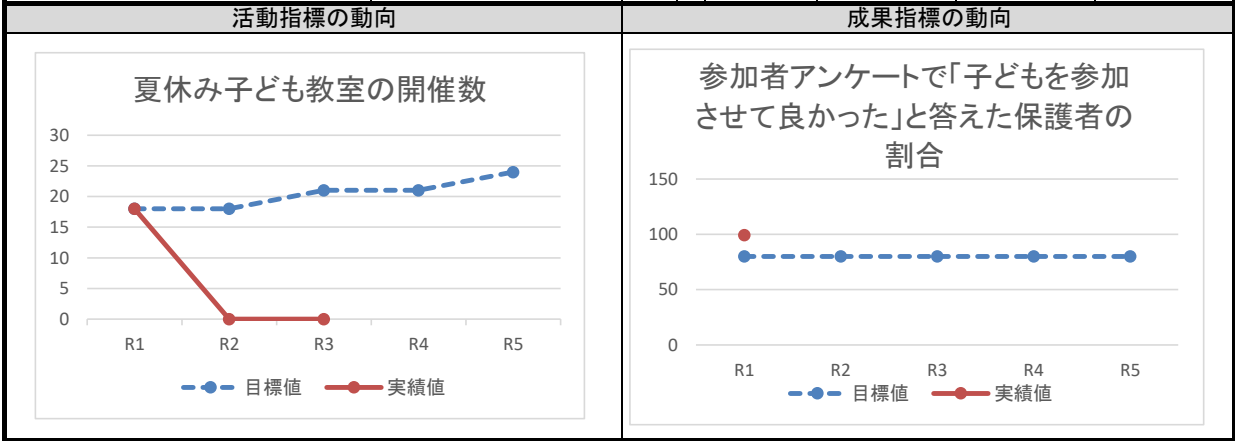
予算科目					
款 項 目 事				事業名	
9	05	01	12	放課後子ども教室推進事業	
担当課・係等					
生涯学習課生涯学習係					

実施計画整理番号	
105010102	
総合戦略 整理番号	22301

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	夏休み期間中の子どもの安全・安心な居場所づくりと異年齢交流、地域教育力の活性化を目的に夏休み子ども教室を開催する。また、放課後子どもプラン運営委員会において事業の検証を行い、開催校を順次増やすことで推進を図る。	・夏休み子ども教室の開催校を増やす。 ・放課後子どもプラン運営委員会の開催(年2回)。 ・コーディネーターの育成のため各種研修会に参加する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	夏休み期間中の子どもの安全・安心な居場所作りと異年齢交流、地域教育力の活性化を目的に夏休み子ども教室を開催することで、施策「青少年健全育成の充実」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	377	369	0	425					
	国補助	千円									
	県補助	千円									
	市債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	377	369	0	425					
	人工数	人		0.45							
	人件費	千円		3,403							

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
夏期休業期間中に「夏休み子ども教室」を開催する。	夏休み子ども教室の開催数	回	目標値 18	21	21	21
			実績値 0	0		
			目標値			
			実績値			
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
夏休み期間中の子どもの居場所づくりや異年齢交流、地域教育力の活性化が図られる。	夏休みこども教室参加者アンケートで「子どもを参加させて良かった」と答えた保護者の割合	%	目標値 80	80	80	80
			実績値 —	—		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	105010102
1	5	1	1	放課後子ども教室推進事業	9	05	01	12	放課後子ども教室推進事業	

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	新型コロナウイルス感染症の影響により、会場となる小学校を使用することができなかったため全校で中止となった。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	C: 効率性について検討が必要である
	総合評価		
	D: 実施していない・実施できなかった		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	放課後子ども教室は小学校の教室を会場として使用するため、新型コロナウイルス感染症対策の観点から小学校側から中止の申し入れがあった場合は開催できない。 また、活動内容からオンラインでの開催が不可能であるため、実施可能であっても参加者数を減らして実施せざるを得ない。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		⑥その他	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	新型コロナウイルス感染症の収束までは、定員を減らし、実施可能な範囲で継続していく。 また、実施内容についても、当該感染症対策に留意した内容とする。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	過去の参加者アンケートの結果からも子どもの安全・安心な居場所づくりや地域教育力の活性化に資する事業と認められる。引き続き、関係機関と連携しながら開催手法等を研究し、事業実施に努めていただきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	5	1	2	青少年健全育成と家庭教育	青少年健全育成の充実
実施計画事業名					
青少年相談指導事業					

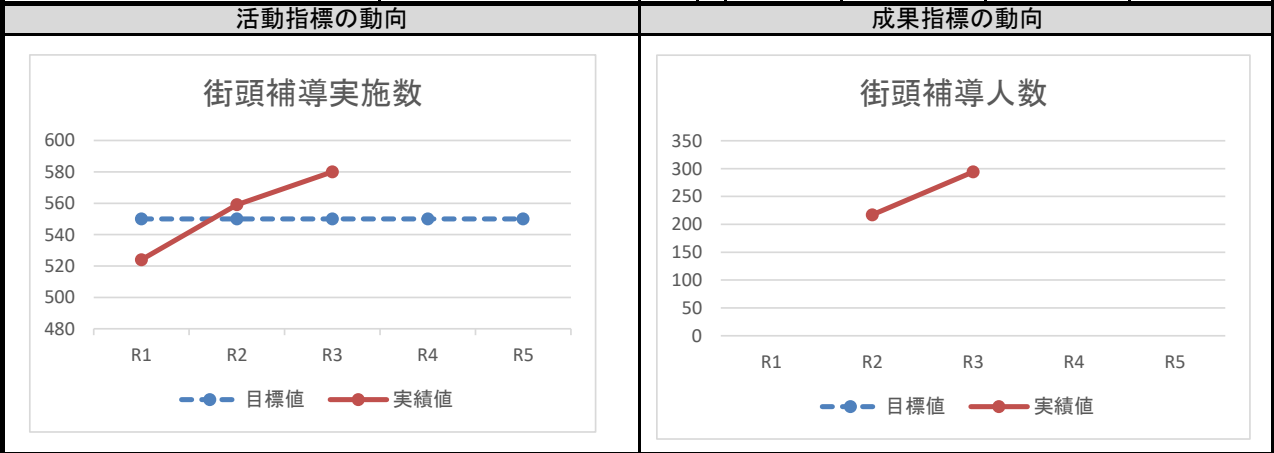
予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	04	01	適切な環境づくりと非行防止事業
担当課・係等				
青少年指導センター				

実施計画整理番号	
105010201	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	社会環境の変化に応じた適切な環境づくりを推進すること で、青少年の健全育成が図られることを目指す。 茂原市青少年補導員連絡協議会と連携し、街頭補導、相談 事業、青少年に有害な社会環境の浄化活動、啓発活動、児 童生徒の安全を確保する活動を推進し、青少年の健全育成 に努める。	・夜間の街頭補導を充実する。 ・列車補導、県下一斉パトロール等の啓発補導を充実す る。 ・他支部との連携や研修会へ補導員とともに積極的に参 加する。 ・相談体制を整え、相談事業をより充実する。 ・ネットパトロールを充実する。 ・早朝、薄暮等の登下校時のパトロールを充実する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	青少年を取り巻く環境が急激に変化する中において、青少年が健やかに成長していくためには、地域社会全体で青少年を支えていく環境の整備が必要である。青少年指導センターは、学校や地域、関係機関と連携して補導活動や相談活動、啓発活動に努めることで、青少年の安全確保や非行防止、自立支援につなげ、ひいては施策「青少年健全育成の充実」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	1,362	1,530	1,509	1,243				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円	250	250	250	250				
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	1,112	1,280	1,259	993				
	人工数		人	5.90							
	人件費		千円	25,915							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
年間を通して、早朝・午前・午後・薄暮・夜間にパトロールや街頭補導を実施することで、青少年の安全確保や非行防止に努める。	街頭補導実施数	件数	目標値 550	維持します	維持します	維持します
			実績値 559	580		
			目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
パトロールや街頭補導の推進により青少年の安全確保や非行防止ひいては青少年の健全育成につなげる。	街頭補導人数	人	目標値	減少を目指します	減少を目指します	減少を目指します
			実績値 217	294		



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
1	5	1	2	青少年相談指導事業	9	05	04	01	適切な環境づくりと非行防止事業	105010201

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	・青少年補導員連絡協議会や茂原警察署と連携して茂原駅周辺のパトロールや補導を継続的に行うことで、茂原駅周辺での青少年の問題行動を減少させることができた。 ・継続相談を行うことで、青少年やその家庭に継続的な支援を施すことができた。 ・様々な相談があった中で、相談内容によっては、外房地区少年センターや茂原警察署等の関係機関に橋渡しすることで、青少年やその家庭に適切な支援を施すことができた。 ・ネットパトロールを実施し、SNSに児童生徒の問題ある投稿があった場合は所属学校にその情報を提供することで、トラブルを未然に防ぐことができた。 ・児童生徒へ広報紙「くす」やリーフレット「スマホの正しい使い方」を配付することで、非行防止や交通安全、不審者対策、スマホの正しい利用等生活に密着することについて啓発することができた。 ・「わが街ガイド」の不審者情報を随時更新することで、市民に不審者情報を周知することができた。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・全国的に少年犯罪は減少傾向にあるが、今後、増加するかもしれない、重大事件が発生するかもしれないという危機感を持ち、未然に防いでいく必要がある。 ・登下校時の児童生徒の安全を確保する活動の中で、児童生徒の交通ルール、特に自転車の乗り方について注意することが多くあった。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	A: 計画どおり事業を進めることが適当		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	・関係機関と連携したパトロールや街頭補導、青少年に関わる情報の共有を年間を通して実施していく。 ・自転車の正しい乗り方について広報紙「くす」等で啓発していくとともに、学校への協力も要請していく。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	適切な環境づくりにより青少年の健全育成に資する事業と認められる。引き続き、関係機関と連携により効果的な事業実施を図るとともに、より効果的な周知に努めていただきたい。	

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	5	2	1	青少年健全育成と家庭教育	家庭教育の充実
実施計画事業名					
家庭教育学級開催事業					

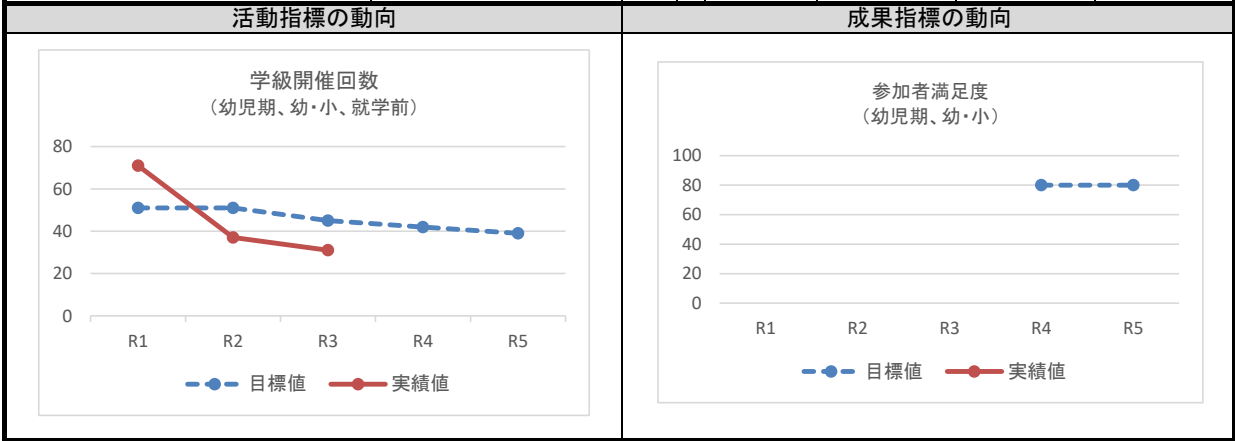
予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	03	家庭教育学級開催事業
担当課・係等				
生涯学習課社会教育係				

実施計画整理番号	
105020101	
総合戦略 整理番号	22101

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	幼児・児童の保護者を対象に、子育てに関する知識や情報を提供する各種講座を開催し、子どもの健やかな成長の一助とする。	3歳児の保護者を対象に「幼児期家庭教育学級」、就学を控えた児童の保護者を対象に「就学时子育て講座」、幼稚園児・小学生の保護者を対象に「家庭教育学級」を開催する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	家庭教育の重要性に鑑み、子育てに関する啓発及び相談の場の提供は切れ目なく行っていく必要がある。本事業は、子どもの発達段階に応じた講座を提供することで、施策「家庭教育の充実」に寄与している。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	631	631	228	595					
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	631	631	228	595				
	人工数	人		1.05							
	人件費	千円		3,218							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
子どもの成長段階に応じた学級を開催することにより、切れ目のない家庭教育支援を行う。	開催回数 (幼児期、幼・小、就学前)	回	目標値 51	45	42	39
			実績値 37	31		
	1回あたり参加人数 (幼児期、幼・小、就学前)	人/回	目標値 30	30	30	30
			実績値 17	18		
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
情報の提供及び繋がり場の提供により、家庭教育の充実ひいては子どもの健全育成につなげる。	参加者満足度 (幼児期、幼・小)	%	目標値 -	-	80	80
			実績値 -			



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
1	5	2	1	家庭教育学級開催事業	9	05	01	03	家庭教育学級開催事業	105020101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	3歳児の保護者、就学を控えた子どもの保護者、幼稚園児・小学校児童の保護者と、子どもの成長段階に応じて講座を開催することにより、家庭教育に関する情報提供を切れ目なく行っている。また、情報提供のみならず保護者どうしの繋がりがづくりに貢献している。 なお、令和3年度はコロナ禍の影響により、各講座は中止あるいは縮小を余儀なくされた。 ・幼児期(3歳児)家庭教育学級・・・全5回すべて中止した。 ・幼・小家庭教育学級・・・15学級(幼稚園2園、小学校13校)で18講座実施。326人参加。 ・就学時子育て講座・・・13小学校で実施。594人参加。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・幼稚園家庭教育学級は市立幼稚園に通う児童の保護者を対象にしており、私立幼稚園や保育園児に対しては同様のサービスを提供できていない。		

今後の方向性（ACTION）	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B:事業の実施方法やコスト等について改善が必要		⑥その他	
	課題を解決する具体的な取組（具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか）			
	・子どもを保育所に預ける保護者は日中仕事に従事しており、教室への参加が難しいと考えられることから、講演会や動画配信等による情報提供を検討する。			
企画政策課の評価		評価理由		
B	A:計画どおり事業継続が適当 B:事業改善の検討が必要 C:事業の休止・廃止の検討が必要 D:事業終了が適当	情報及びつながりの場を提供することで家庭教育の充実に資すると認められる。引き続き、保護者に対してより効果的な周知を図るとともに、様々な手法により切れ目のない支援が提供できるよう努めていただきたい。		

令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	6	1	1	国際化	国際化の推進
実施計画事業名					
国際化推進事業					

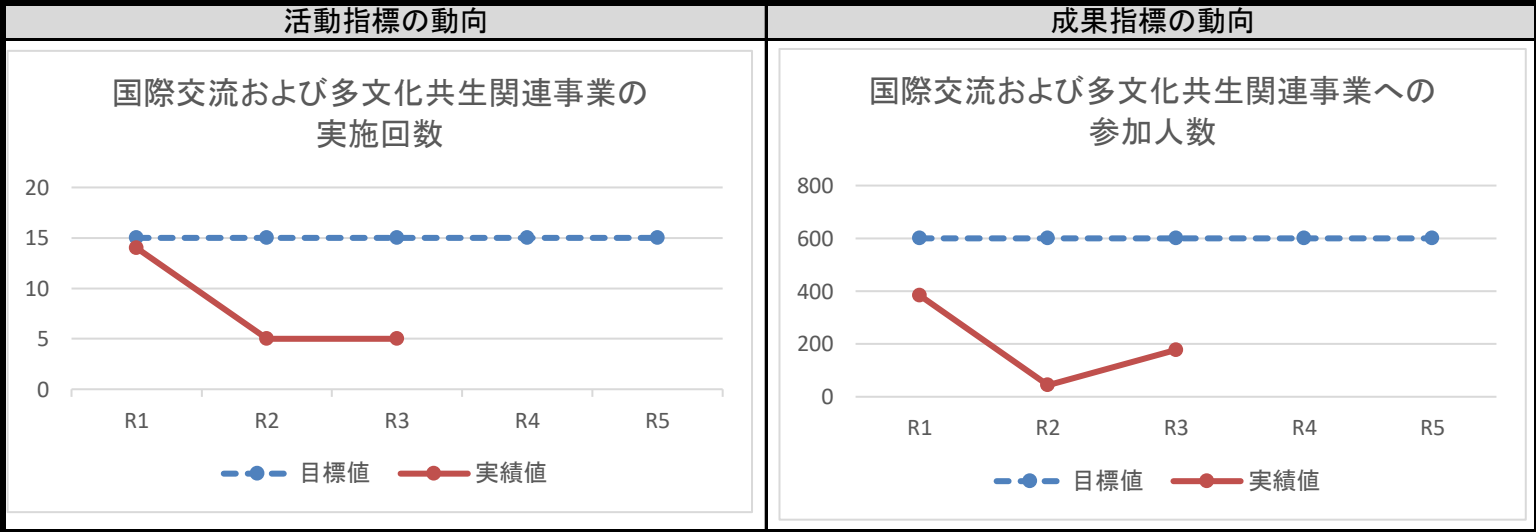
予算科目				
款	項	目	事	事業名
2	01	09	02	国際化推進事業
担当課・係等				
企画政策課 男女共同・国際化係				

実施計画整理番号	
106010101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	多くの市民が国際交流活動に参加し、国内外の多様な文化や価値観を受入れ、国際的な観点で物事を考えることができる国際感覚を身に付ける。また、外国人市民と日本人市民が、お互いの価値観や文化を尊重し合い、安全安心に暮らすことができる。	姉妹都市ソルズベリー市等との交流事業を実施し、市民の参加機会を提供するとともに、異文化理解促進のための情報発信を行う。また、国際交流協会との協働により、在住外国人向けの生活支援講座および交流イベントの開催や、多言語での情報提供を行うとともに、多文化共生社会について等の啓発のための情報発信を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	・姉妹都市交流等を通じて市民が国際交流に参加できる機会を提供し、また、国際交流協会への支援を通じてより多くの交流機会を創出することにより、施策「国際化の推進」における「国際交流活動の推進」に寄与する。 ・在住外国人が安全安心に暮らすための支援をするとともに、日本人市民が異文化を理解するための機会を提供することにより、在住外国人施策「国際化の推進」における「多文化共生社会の実現」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分		令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		単位	計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費		千円	3,243	3,243	547	3,540				
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円	3,142	3,142	420	3,440				
		一般財源	千円	101	101	127	100				
	人工数		人	1.15							
	人件費		千円	8,697							

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
姉妹都市等との交流事業や在住外国人向け生活支援講座、交流イベントを開催し、市民が参加できる機会を創出し、広く周知するとともに、異文化理解促進および多文化共生社会について等の啓発のための情報発信を行う。	国際交流および多文化共生関連事業の実施回数	回	目標値	15	15	15
			実績値	5	5	
	参加機会の周知および啓発のための情報発信	回	目標値	2	2	2
			実績値	1	1	
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
姉妹都市等との交流事業や在住外国人向け生活支援講座、交流イベントに多くの市民が参加できる機会を提供し、ひいては国際感覚や多文化共生の価値観の醸成につなげる。	国際交流および多文化共生関連事業への参加人数	人	目標値	600	600	600
			実績値	44	177	



令和3年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	
1	6	1	1	国際化推進事業	2	01	09	02	国際化推進事業	106010101

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
・ソルズベリー市および茂原市内の学校にオンライン交流の参加を募り、エンデバーカレッジと南中学校の間でビデオメッセージ交換を実施した。(参加人数156人) ・国際交流協会と協働し、外国人が日本文化を学ぶ機会としてお正月フラワーアレンジメント体験教室を開催した。(参加人数10人) ・国際交流協会と協働し、外国の言語・文化への理解を深めるためのオンライン外国語教室を開催した。(3教室(韓国語会話、英会話、子ども向け英会話)、受講者数11人) ・秘書広報課と協働し、市公式ウェブサイトの自動翻訳機能の言語数を充実させた。(外国語を4言語から7言語に増やし、「やさしい日本語」翻訳機能も追加)		
必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	B: 有効性が認められる	C: 効率性について検討が必要である
総合評価		
C: 成果を挙げる事ができなかった(目標・目的を達成していない)		
分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
・新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着くという期待のもと対面交流の実施を基本とした考え方で取り組んでしまったため、多くの事業が中止となり、成果を挙げる事ができなかった。 ・日本文化紹介、外国語教室ともに定員に満たない参加者数となったが、外国人および日本人のニーズを把握する仕組みがないため、ニーズに合っていない事業を実施している可能性がある。		

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
・事業の実施回数を増やすため、対面交流を基本とする考え方から脱却し、オンラインツール等を活用した新しい国際交流の形を推進する。 ・参加人数の増加のため、日本人市民に必要とされている国際交流のあり方や、外国人市民が求めている生活支援のあり方等、ニーズを把握した上での的確な事業内容を検討する。 ・上述にあたり、ソルズベリー市や教育委員会、国際交流協会との連携・協働を推進する。 ・また、より多くの市民が国際交流および多文化共生社会づくりの推進に関心を持ち、参加人数が増えるよう、積極的に情報発信を行う。	
企画政策課の評価	評価理由
B A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の 検討が必要 D: 事業終了が適当	市民の国際感覚や多文化共生の価値観の醸成に資する事業と認められる。今後は、オンラインツール等を活用するなど事業改善を図るとともに、情報発信の強化により更なる意識醸成に努めていただきたい。